

五月八日

七時過起床。八時前下の現場へ。M0黒田打合わせ。八時より現場作業。書庫兼私の仕事場の裸形の床が出来上る。一〇〇ミリのデッキプレート¹の床工事は速かった。仕上げをしない鉄はまことに良い。ここ数日の現場暮しで鉄の感触を体に再びしみ込ませた。十四時五反田トモコーポレーション、友岡社長と打合わせ。十七時修了。十八時研究室。住宅打合わせ。担当者のプレゼンテーション²を受けているうちに、自然に情けなくなつて、思わず長口舌をふるつてしまう。生え出る芽の無い者に何を言つても無駄なのは解つてはいるのだが、言わざるを得ない。言わなければ教師³やっている意味もない。徒労だろうが、やるだけの事はやっておく。反応の無い奴をかま⁴つている無駄はしたくないのだが。皆、努力の桁が違つんだな。情熱の絶対量が小さ過ぎるのだ。

五月十日

昨日は終日世田谷村にこもつて休み。何本かのビデオを観る。新しく銅板をホンの少しばかり彫⁵つた。

六時四十分起床。今朝はM0が世田谷に来るので進行中の現場でゼミナールの一回目を始める。今日出来ぬ事は、来年も出来ない、常々学生に言つてる事を私が先ずやり始めよう。八時前初回の世田谷村ゼミ始める。今日はどのように進めるのか説明と学ぶ人間達の意志の確認。毎週月曜日のAM9時〜12時。場所は世田

谷村現場。テーマは「開放系デザインの可能性について。」初回は昨年⁶に続けて、「アポロ13号の故障」について。五名のメンバーにそれぞれ「ロケット及び宇宙船の歴史、兵器を含めた巨大ハイテクの世界、宇宙船のデザイン、ハイテクの故障、アポロ13号事件とメディア（社会的関心）について研究させるつもりである。同時に世田谷村Ⅱ期、Ⅲ期のデザインを進行させる。現場Ⅱ現在進行形の中で、実物に触れながら設計をさせる。十時半終了。このスタジオは世界最強のスタジオにするぞ。スタジオ・ハードなのだ。